

第 6 回農林水産技術会議（熊本県）における参加者からの 農林水産研究基本計画に関する意見について

【総論】

- ・ 消費者を全面に出した書きぶりが目立つが、生産者を重視した書き方や生産振興方向を目指した表現にしてほしい。
- ・ 低炭素社会の実現、地域資源の活用に関しては関係省庁の連携が必要でないか。

【1. 食料安定供給】

○農産物の自給力向上と安定供給

- ・ 複合病害抵抗性を持った遺伝子組換え野菜などの技術開発を要望（宮崎県）
- ・ 大豆収穫作業の平準化のため、現在の品種より早生の品種開発を要望（アグリともあい）
- ・ 飼料米の牛への給与割合について、生産技術の情報提供を要望（J A 菊池）
- ・ 畜産の生産コスト低減技術について具体的に盛り込むことを要望（九州農政局）
- ・ 農家の所得向上に貢献する高品質品種、低コスト技術等の開発を要望（佐賀県）
- ・ マンゴーなどの亜熱帯果樹研究について、研究基本計画に盛り込むことを要望（宮崎県）
- ・ 省力・低コスト技術が開発されているが、初期投資がかかるため、導入が困難（佐賀県）
- ・ 脱石油対策について、原油高騰の影響は重大であり、早期の研究開発を要望（熊本県）

○水産物の安定供給と持続可能な水産業の確立

- ・ 磯焼け（栄養塩の不足）による漁獲への影響が出てきており、原因究明と適切な栄養バランスを保つための対応策の研究を要望（福岡県）
- ・ 漁場環境保全対策として赤潮の原因究明と対応策の研究を要望（熊本県）

○食の安全と消費者の信頼確保

- ・ 品種同定技術の開発について、枝変わり等の微細な違いを見極められる技術開発を要望（熊本県）

【2. 地球規模環境変動対応研究】

○低炭素社会の実現

- ・ 地球温暖化対策について、具体的な達成目標の記載を要望（九州農政局）
- ・ 温暖化の影響により、ナシの発芽不良、家畜の繁殖成績の低下など、問題が発生している。温暖化対策として、生産管理について総合的な研究を期待（熊本県）
- ・ バイオマス利用技術として竹のバイオマス利用について有効な技術開発を期待（大分県）

【3. 新需要創出研究】

○高品質な農林水産物・食品

- ・ 高品質農林水産物の機能性成分について具体的に体にどの程度有用かを明らかにする研究を期待（熊本県）
- ・ 機能性の評価について国の試験場等で産学官連携を推進すること期待（青紫蘇農場）
- ・ 農林水産物の流通について鮮度保持技術の研究開発を要望（熊本県、大分県）

○高度生産・流通システム

- ・ I T・R Tについて、担い手に絞った研究が必要（鹿児島県）

【4. 地域資源活用研究】

○農山漁村における豊かな環境形成と地域資源活用

- ・ 中山間地に対応した技術開発を要望（宮崎県）
- ・ 鳥獣害対策技術開発を要望（大分県）

【5. シーズ創出研究】

○農林水産生物に飛躍的な機能向上をもたらすための生命現象の解明・基盤技術の確立

- ・ DNAマーカーの開発について、野菜のマーカーの開発を要望
(宮崎県)

○遺伝資源・環境資源の収集・保存・情報化と活用

- ・ 野菜のマクロアレイによる連鎖地図の作成等の研究開発に期待
(宮崎県)